

情報発信の充実

1 地域に出向いた広報・広聴活動

(1) これまでの取組

- ・地域に出向いた広報・広聴活動は従来から実施
- ・昨年の町村総会の報道以降、村政の関心を高める目的で、神祭や初会には必ず全集落に職員が赴き、村政に関する広報・広聴活動を行うなど取組を強化

場所(時期)	・各集落(16集落)で開催される神祭(夏～秋頃(年1回)) ・初会(1～2月頃) ・消防団、老人クラブ、青年団の会合(随時)
テーマ	・村政のトピック等(会合に合わせた内容) ※例えば、昨年の初会においては、村から住宅の耐震診断の取組などについて説明し、村民からは、制度の利用の仕方などについて質問が出された。
進行	・村長(出席できない場合は他の職員)が説明(10～15分程度) ・説明に対する質疑・意見交換 ※全体で20分～30分程度



- ・その場で村民と直接、双方向での議論ができることから、きめ細やかな情報発信・意見収集が可能。
- ・神祭や初会には、概ね住民の7～8割程度が参加しており、幅広い村民に対して情報発信・意見収集が可能。

(2) 今後の取組強化の方向性

- ・村の政策広報(特に住民のくらしに関連の深い政策の広報)や広聴を行っていくに当たっては、村民と直接対話できるこの方法が非常に有効であり、今後も村内の各種会合の機会を的確に捉え、実施していく。
- ・このほか、今年度実施する「バル」や住民との政策議論の場も活用し、より多くの村民と意見交換する場を提供していく。(資料2参照)

情報発信の充実

2 地域に出向いた広報・広聴活動以外の手法

大川村では、神祭等の場で、多くの住民に情報発信を行うことが可能であるが、中には、神祭等の会合に出席しない・できない方もいることや、開催回数が限られることから、そのほかの情報発信手法（広報紙・チラシ、音声放送等）も活用していく。

①広報紙・チラシの配布

（1）広報紙等のメリット

- ・全戸配布が可能
- ・ゆっくり目を通してもらえる
- ・詳細な情報を幅広く提供できる
- ・情報が見やすい

（2）これまでの取組

- ・村広報紙（広報おかわ）を2ヶ月に1回発行。
- ・広報紙の紙面を活用して、議会だよりを掲載。（質問のやりとりの概要が中心）
- ・昨年度から計4回、議会の仕組み等をわかりやすく解説したチラシを配布。

（3）今後の取組強化の方向性

- ・広報紙（議会だより）は、ページ数を増加した上で、町村議会広報全国コンクール（全国町村議会議長会）の優良事例等を参考に、質問のやりとりだけでなく、例えば次のような観点で議会活動についてわかりやすく掲載する工夫をするなど、内容の充実を図り、9月議会に係る議会だより（11月号）から順次反映させていく予定。

○議員が聴いた生の声を掲載 ○住民の顔や名前、その人の声を掲載

○目を引くレイアウトや見出し部分で内容が理解できるような工夫 ○議会活動の成果等を掲載 等

- ・チラシは、継続的に議会の仕組み、村政のトピック等を掲載し、随時発行していく。

【参考】県における取組

・特に県民への周知が必要な県の重要な施策について、特集やピックアップとして掲載。その他、イベント情報等は、必要最小限で文字情報を掲載。

※広報誌は、ほぼ全戸配布(92.0%)

※60.0%の県民が県政情報を入手する手段として利用(H29県民世論調査)

・チラシについては、各種イベントや補助金制度等様々な内容を必要に応じて配布。

<具体例>

・毎月発行

・(特集)5つの基本政策とそれらに横断的に関わる3つの政策等を紹介(イベント等の開催と併せて掲載

・その他に、情報ひろば(試験、催し、募集、お知らせ等)、県立施設のイベント情報等を掲載

情報発信の充実

2 地域に出向いた広報・広聴活動以外の手法

②音声放送（ふるさと放送）の活用

（1）音声放送のメリット

- ・タイムリーな情報発信が可能
- ・幅広く情報を伝えることが可能
- ・紙面等を読まない方に対して、音声で伝えることができる
- ・仕事などをしながら、聴くことができる
- ・話し手の感情など、細かいニュアンスが伝わりやすい

（2）これまでの取組

- ・ふるさと放送（全戸放送：3チャンネル）
- ・定時放送（朝、昼、晩の3回）で、村民へのお知らせや、村政のトピック等について放送。

（3）今後の取組強化の方向性

- ・平成32年度完了予定の村内のブロードバンド網整備を受け、チャンネル増設を行うとともに、議会中継の再放送等、放送内容の充実を検討する。
- ・将来的には、「バル」や新たに開催を検討する「政策議論の場」等について、より多くの村民に来てもらい、活発な意見交換が行えるよう、事前に議論のトピックについて説明するなど、放送方法の工夫についても検討する。

③ホームページやSNSの活用

- ・ホームページやSNSについては、文字や映像等の詳細データの参照が可能、接続すればいつでも参照が可能といった他媒体にはない長所があることから、例えば、広報紙・チラシに関連する詳細データや広報紙のバックナンバーを掲載する、議会音声データを掲載する等、将来的に活用を検討。